

# 三重県廃棄物処理計画 (中間案)

三重県環境生活部廃棄物対策局  
廃棄物・リサイクル課

# 目次

- 1 計画の基本的事項
- 2 現状と課題
- 3 基本理念と取組方向
- 4 計画の目標と施策
- 5 各主体の役割と進捗管理

# 1 計画の基本的事項

## (1) 計画の趣旨

廃棄物の3Rと適正処理の推進

## (2) 計画の性格

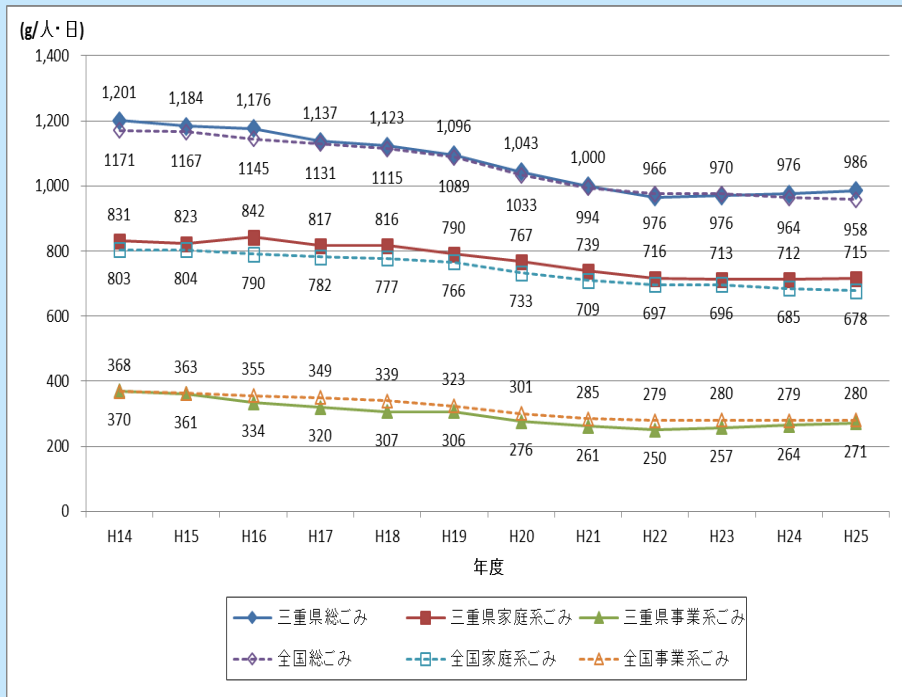
廃棄物処理法第5条の5の規定に基づく計画  
国の基本方針に則した内容

## (3) 計画の期間

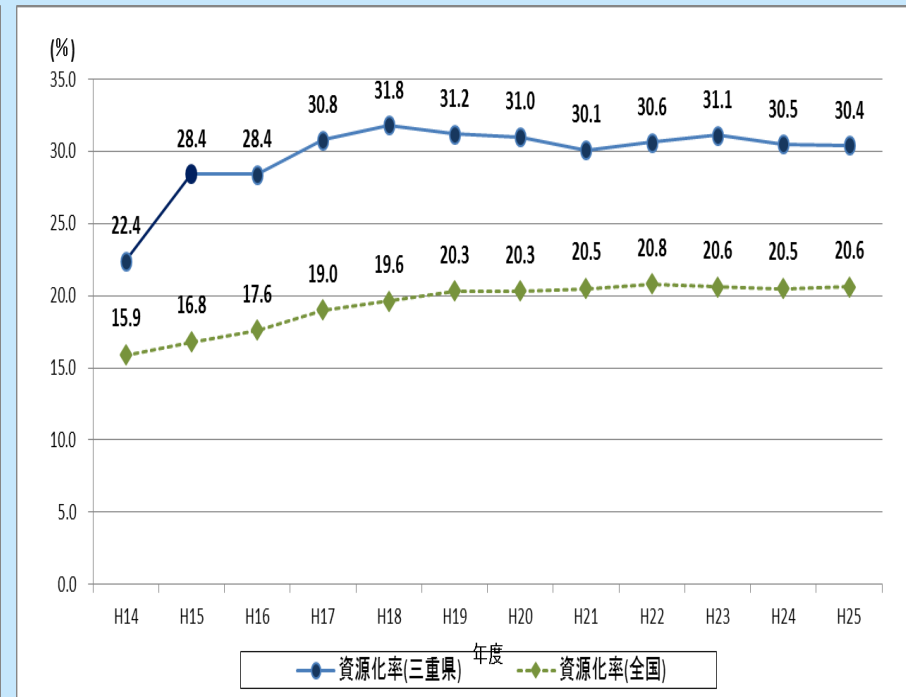
10年先を見据えつつ、5年間（平成28年度～平成32年度）を計画期間とする

## 2 現状と課題（一般廃棄物）

### ごみの排出量

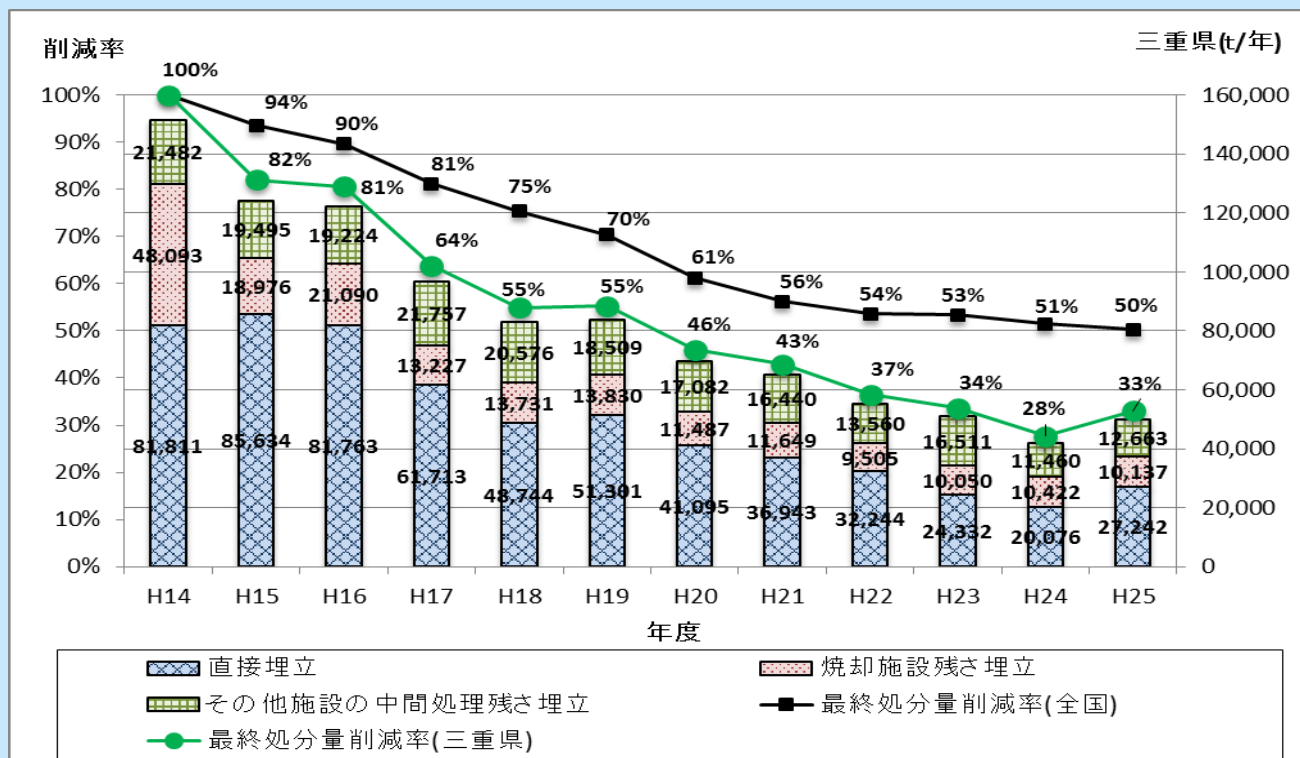


### 資源化率



## 2 現状と課題（一般廃棄物）

### 最終処分量



3Rの取組に一定の進展

## 2 現状と課題（一般廃棄物）

### 一般廃棄物に係る課題

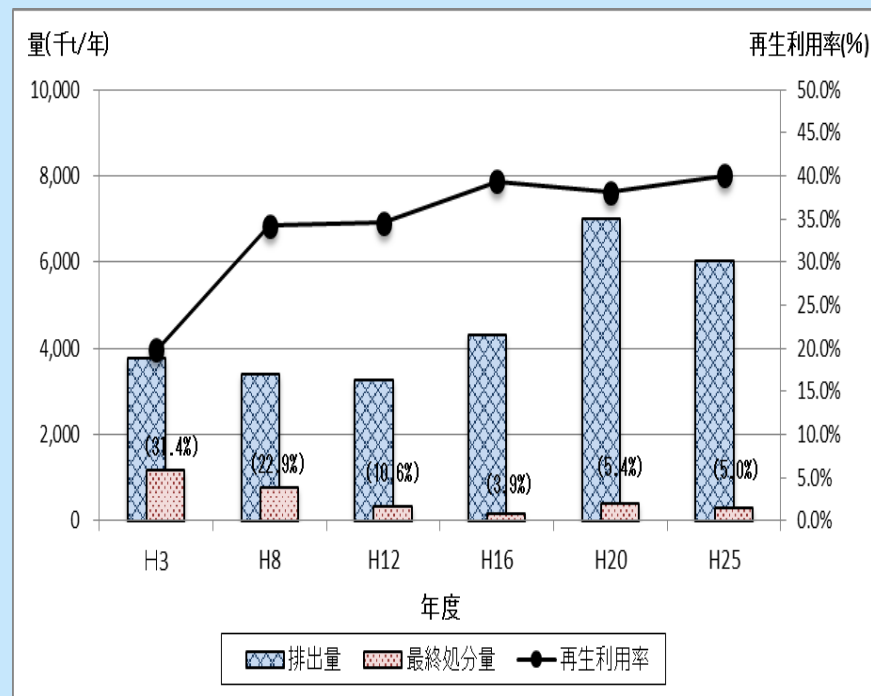
- 発生・排出抑制、循環的利用の推進
- 多様な主体による資源回収との連携
- 資源循環の質の向上
- 未利用エネルギーの有効活用
- 公正で効率的なごみ処理システムの構築
- 災害に備えた災害廃棄物処理体制の構築

## 2 現状と課題（産業廃棄物）

### 産業廃棄物の処理状況

年 度	H16	H20	H25
排出量 (千 t)	7,303	9,577	8,505
再生利用量 (率)	3,137 (43.0%)	3,888 (40.6%)	3,655 (43.0%)
最終処分量 (千 t)	281	273	258

### 産業廃棄物の処理状況 (鉱業、農業を除く推移)



3R取組に一定の進展

## 2 現状と課題（産業廃棄物）

### 産業廃棄物に係る課題

- 発生・排出抑制、循環的利用の推進
- 資源循環の質の向上
- 産業廃棄物処理の安全と安心の確保



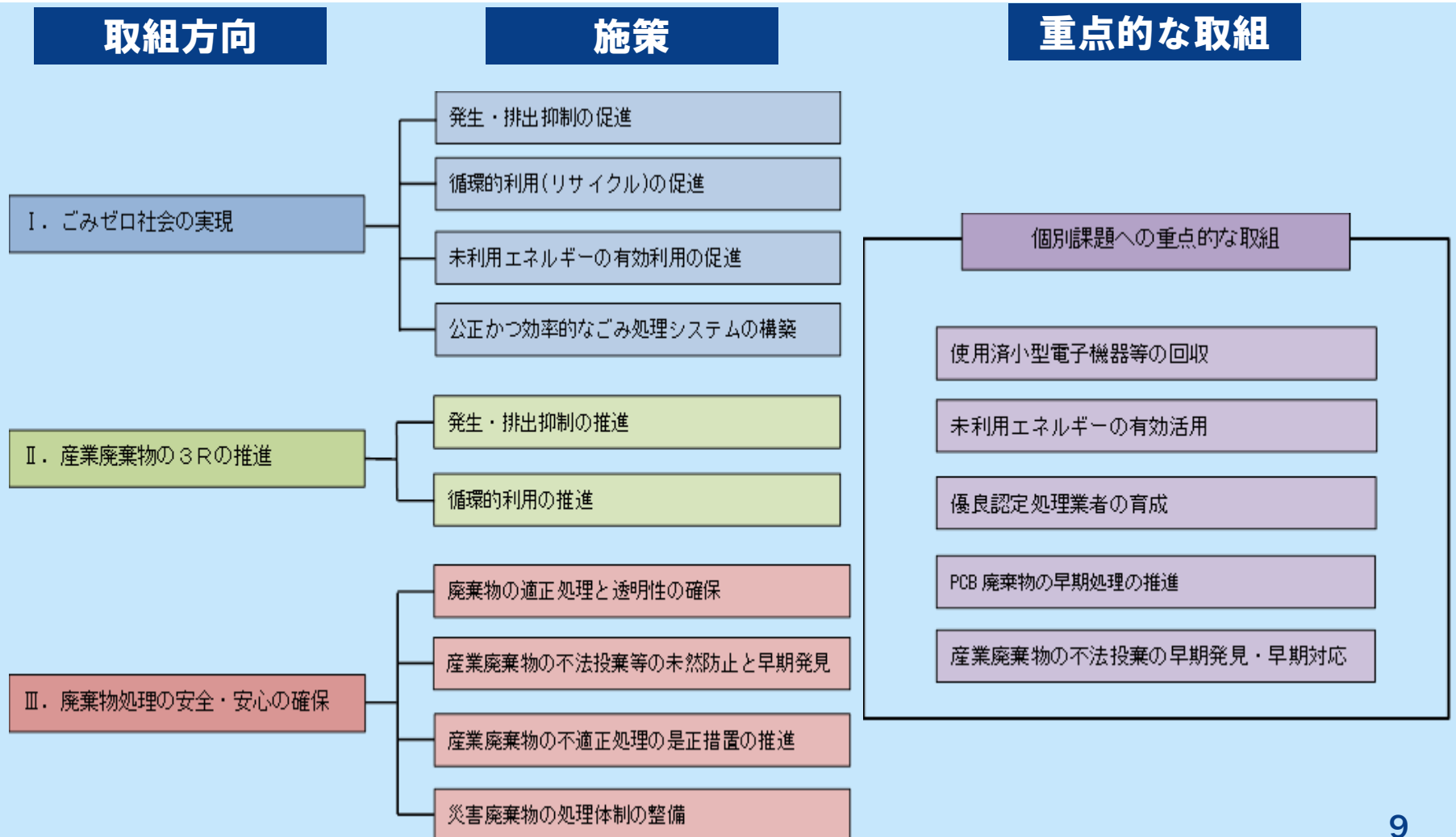
# 3 基本理念

- 廃棄物の3Rや適正処理の一層の取組
- 循環を質の面からも捉え取組
  - ・ 環境保全と安全・安心の確保
  - ・ 貴重な資源やエネルギー源として一層有効活用
  - ・ 天然資源の使用抑制
- さまざまな主体の協創により、最適な規模の地域循環
- 低炭素社会と自然共生社会につなげる



循環型社会の定着が実感できる社会づくり

# 4 計画の目標と施策



# 4 計画の目標と施策

## 取組方向 I ごみゼロ社会の実現

ごみの発生・排出が極力抑制され、排出された不用物は、循環の質に着目し、資源やエネルギー源として地域で最大限有効活用されることをめざします。

目標項目	現状値 平成25年度	目標値 平成32年度	目標項目の説明
1人1日あたりのごみ排出量	986 g/人・日	936 g/人・日	ごみ総排出量 ÷ (計画収集人口 × 365日) ※災害廃棄物の量を除く
資源化率	30.4%	33.3%	資源化量 (直接資源化量 + 中間処理後再生利用量 + 集団回収量) ÷ ごみ総排出量
最終処分量	50,042 t	30,000 t	最終処分量

# 4 計画の目標と施策

## 取組方向Ⅱ 産業廃棄物の3Rの推進

産業廃棄物の発生・排出が極力抑制され、排出された産業廃棄物は、貴重な資源やエネルギー源として、その性状や地域の特性に応じて一層有効活用されることをめざします。

目標項目	現状値 平成25年度	目標値 平成32年度	目標項目の説明
排出量	8,505 千t	7,920 千t	県内から排出される産業廃棄物の量（排出量 - 有償物量）
再生利用率	43.0%	43.6%	県内から排出される産業廃棄物から再生利用される割合（再生利用量 ÷ 排出量）
最終処分量	258 千t	234 千t	県内から排出される産業廃棄物から最終処分された量

## 4 計画の目標と施策

### 取組方向Ⅲ 廃棄物処理の安全・安心の確保

廃棄物の適正処理や不法投棄等不適正処理対策を推進するとともに、災害廃棄物の処理体制を整備することで、環境の保全と安全・安心なくらしが確保されることをめざします。

目標項目	現状値 平成25年度	目標値 平成32年度	目標項目の説明
電子 manifests の活用率	34.1%	60%	manifests 総交付件数のうち、電子 manifests 登録件数の割合
不法投棄等不適正処理事案の改善着手率	83.9% (平成26年度実績)	100%	不法投棄や不適正保管等の不適正処理について、改善に着手した件数の割合
不適正処理4事案に係る行政代執行による是正措置の進捗率	25.0% (平成26年度実績)	100%	不適正処理4事案をそれぞれの実施範囲等により区分し、区分に応じた是正措置が完了した割合
大規模災害に備えた災害廃棄物処理体制整備市町数	4市町	29市町	大規模災害時に備え、災害廃棄物仮置場の確保が図られている市町数

# 4 計画の目標と施策

## 重点的な課題への取組

基本理念の実現に向け、3つの取組方向に基づき施策を展開するにあたり、当県の現状や社会情勢を踏まえ、当計画期間内に特に注力すべき5つの個別課題に目標を設定し重点的に取組を進めます。

目標項目	現状値 平成25年度	目標値 平成32年度	目標項目の説明
使用済小型電子機器等の回収量	0.32 kg/人・年 (平成26年度実績)	1 kg/人・年	県民1人あたりの小型家電リサイクル制度に基づく市町の使用済小型電子機器等の回収量
ごみの未利用エネルギー回収量	1,147 MJ/t	1,491 MJ/t	ごみ総排出量に対する未利用エネルギー回収量（市町等の処理（委託処理を含む）における発電及び余熱回収量の合計量）の割合
優良認定処理業者の認定件数	216 件 (許可件数の約4%)	420 件 (許可件数の約8%)	優良産廃処理業者認定制度における認定件数
PCB廃棄物の適正処分率	37%	90%	平成34年度末までに処理が必要な高濃度PCB廃棄物の適正処分率
一定規模(100t)以上の不法投棄の発生 の件数	2 件	0 件	当該年度に新規発生した100 t以上の産業廃棄物の不法投棄の発生件数

# 5 各主体の役割と進捗管理

## ○事業者

- ・自ら排出する廃棄物の発生・排出抑制
- ・廃棄物の適正処理と透明性を確保
- ・製品設計の工夫、材料・成分表示、製品の廃棄後の引取り等
- ・小売事業者は、家庭で排出される廃棄物の削減や資源回収

## ○廃棄物処理業者

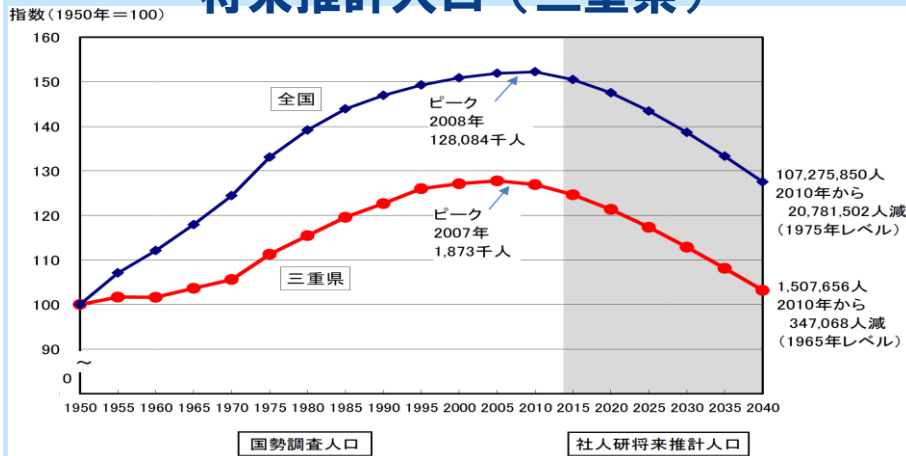
- ・廃棄物等の適正な循環的利用や処分
- ・処理状況の公開等事業の透明性の向上
- ・一層の環境負荷の低減や生活環境の保全、資源循環の質の向上

## ○県

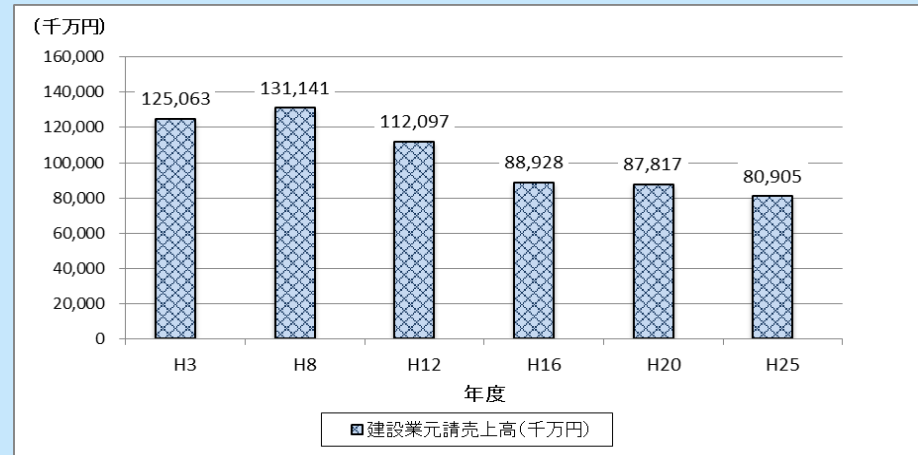
- ・市町や関係者と連携し、総合的に施策を実施
- ・計画実現に向けた連携など基盤の整備
- ・計画推進の進捗管理

# (参考) 本県を取り巻く状況

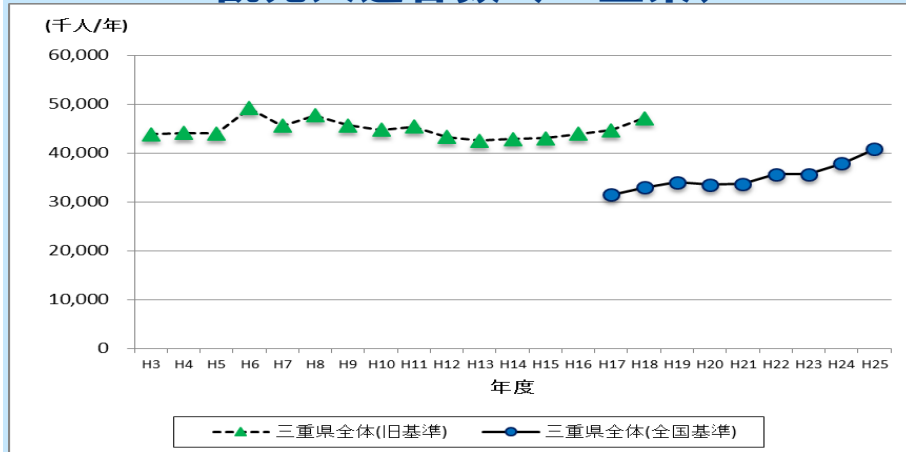
## 将来推計人口 (三重県)



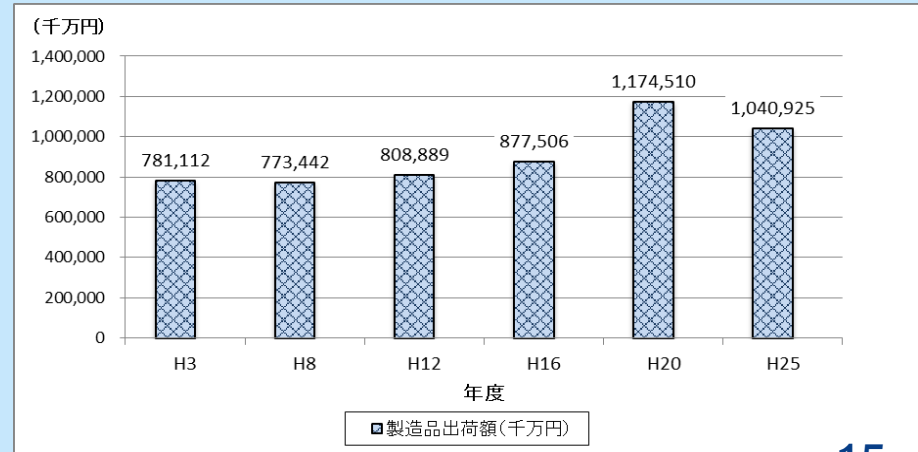
## 建設業元請売上高 (三重県)



## 観光入込客数 (三重県)



## 製造品出荷額 (三重県)





# (参考) 産業廃棄物の処理状況

## 平成25年度 産業廃棄物の処理状況

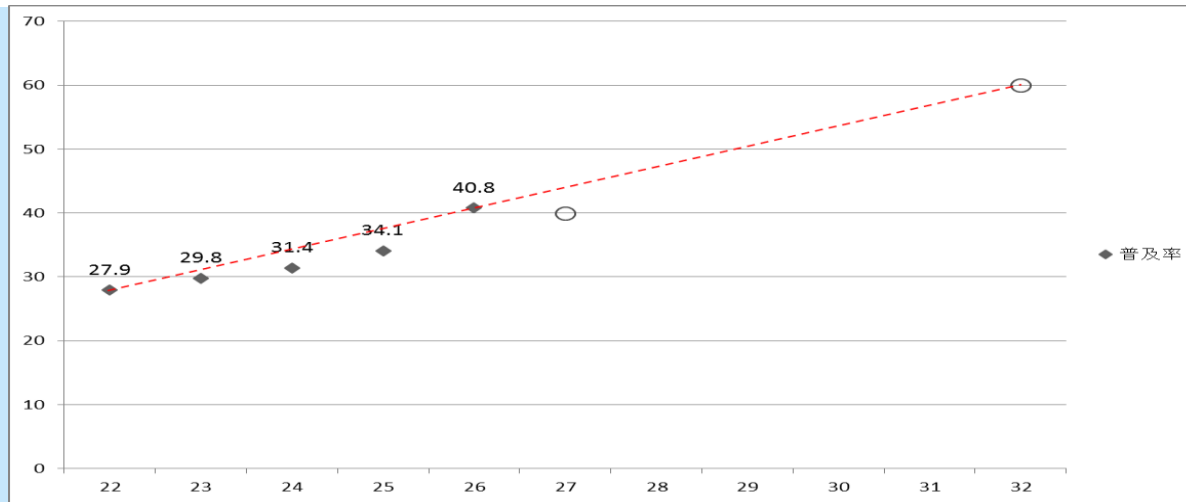
	排出量 (千t)		再生利用量 (千t)		最終処分量 (千t)	
		構成比		再生利用率		最終処分率
合 計	8,505	100%	3,654	43.0%	258	3.0%
燃え殻	41	0.5%	34	82.9%	6	15.4%
汚泥	4,144	48.7%	458	11.1%	147	3.5%
廃油	68	0.8%	35	51.5%	1	1.0%
廃酸	69	0.8%	16	23.2%	1	2.0%
廃アルカリ	563	6.6%	47	8.3%	5	0.8%
廃プラスチック類	123	1.4%	75	61.0%	19	15.0%
紙くず	18	0.2%	5	27.8%	1	3.3%
木くず	154	1.8%	135	87.7%	4	2.3%
繊維くず	4	0.0%	3	75.0%	0	0.0%
動植物性残さ	35	0.4%	15	42.9%	1	2.3%
ゴムくず	0	0.0%	0	-	0	-
金属くず	153	1.8%	65	42.5%	1	0.6%
ガラスくず等	321	3.8%	267	83.2%	11	3.3%
鉱さい	86	1.0%	52	60.5%	11	13.3%
がれき類	1,598	18.8%	1,428	89.4%	14	0.9%
ばいじん	107	1.3%	84	78.5%	22	20.7%
家畜ふん尿	943	11.1%	906	96.1%	0	0.0%
その他	79	0.9%	29	36.7%	16	19.9%

# (参考) 産業廃棄物の処理状況

## 平成32年度 産業廃棄物の処理状況(推計結果)

	排出量		再生利用量		最終処分量	
	(千t)	構成比	(千t)	再生利用率	(千t)	最終処分率
合 計	7,930	100%	3,459	43.6%	235	3.0%
燃え殻	13	0.2%	12	88.4%	2	15.7%
汚泥	3,742	47.2%	602	16.1%	139	3.7%
廃油	86	1.1%	47	54.3%	1	0.7%
廃酸	89	1.1%	22	24.4%	0	0.4%
廃アルカリ	756	9.5%	44	5.8%	6	0.8%
廃プラスチック類	132	1.7%	82	62.1%	17	12.8%
紙くず	16	0.2%	4	28.0%	1	3.9%
木くず	129	1.6%	113	87.9%	2	1.7%
繊維くず	3	0.0%	3	86.7%	0	0.8%
動植物性残さ	36	0.5%	16	45.2%	1	2.6%
ゴムくず	0	0.0%	0	2.6%	0	3.2%
金属くず	141	1.8%	60	42.5%	1	0.5%
ガラスくず等	251	3.2%	204	81.4%	10	3.9%
鋳さい	99	1.3%	61	61.6%	11	11.4%
がれき類	1,299	16.4%	1,167	89.9%	8	0.6%
ばいじん	113	1.4%	84	74.9%	23	20.5%
家畜ふん尿	943	11.9%	906	96.1%	0	0.0%
その他	83	1.0%	32	38.6%	13	15.2%

# (参考) 電子マニフェスト活用率



電子マニフェスト活用率の推移

業種	H25年度 総交付枚数	H25年度 電子マニフェスト 活用率	H32年度 電子マニフェスト 活用率目標
建設業	308 千件	32%	60%
製造業	145 千件	51%	
その他	174 千件	24%	
合計	627 千件	34%	

# (参考) 優良認定処理業者

## 優良認定処理業者認定件数の推移

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
優良認定処理業者認定件数	101	135	216	260	310	360	420
産業廃棄物処理業許可件数	4,931	5,399	5,239	(5,230)	(5,230)	(5,230)	(5,230)
割合	2.0%	2.5%	4.1%	5.0%	5.9%	6.9%	8.0%